

再処理施設 廃棄物管理施設 MOX燃料加工施設

設工認申請に係る対応状況

令和3年12月15日

目次

1. 設工認申請に係る対応状況（全般事項）
2. 飛来物防護ネットの耐震評価（仮）

1. 設工認申請に係る対応状況（全般事項）

1. 設工認申請に係る対応状況（全般事項）

- **設工認申請書記載事項の整理、設工認申請対象設備の明確化**に関する資料について、資料間の記載内容の横並び調整や、事実確認でのコメント対応が適切でなかったことから、**提出資料の品質向上と審査・事実確認における対応力向上**を目的とし**改善策**を検討。
- 設工認対応の改善策として、以下を実施。
 - ✓ **再処理/MOXの部門横断的管理を実現する体制強化（設工認総括責任者の配置）**
 - ✓ **資料品質向上のための業務フローの見直し（レビュー方法の改善等）**
 - ✓ **各部署の対応力向上を目的とした社内外支援の充実（電力、社内プロフェッショナル）**
 - ✓ **コミュニケーションと作業性の向上を目的とした執務箇所の集約**
- 改善策を踏まえ、**設工認申請書記載事項の整理（共通06別紙1～6）、設工認申請対象設備の明確化（共通09別紙）**の完了に向けて、各資料の事実確認を実施。
 - ✓ コメントに対する横断的な対応方針を説明。今後、条文毎の特徴を踏まえた対応結果を確認頂くことで「**基本設計方針**」を**確定**していく。
 - ✓ 基本設計方針と申請対象施設を紐づける共通方針を説明。今後、代表設備を用いた網羅性の検証プロセスを確認頂き、展開することで**申請対象設備を確定**していく。
- 上記の作業にあたり、設備がコンパクトで迅速に資料対応できる**MOX燃料加工施設を先行**して事実確認を受け、その内容を**再処理施設に展開**することで、今後の補正申請に向けた作業を進めたい。

2. 飛来物防護ネットの耐震評価（追而）